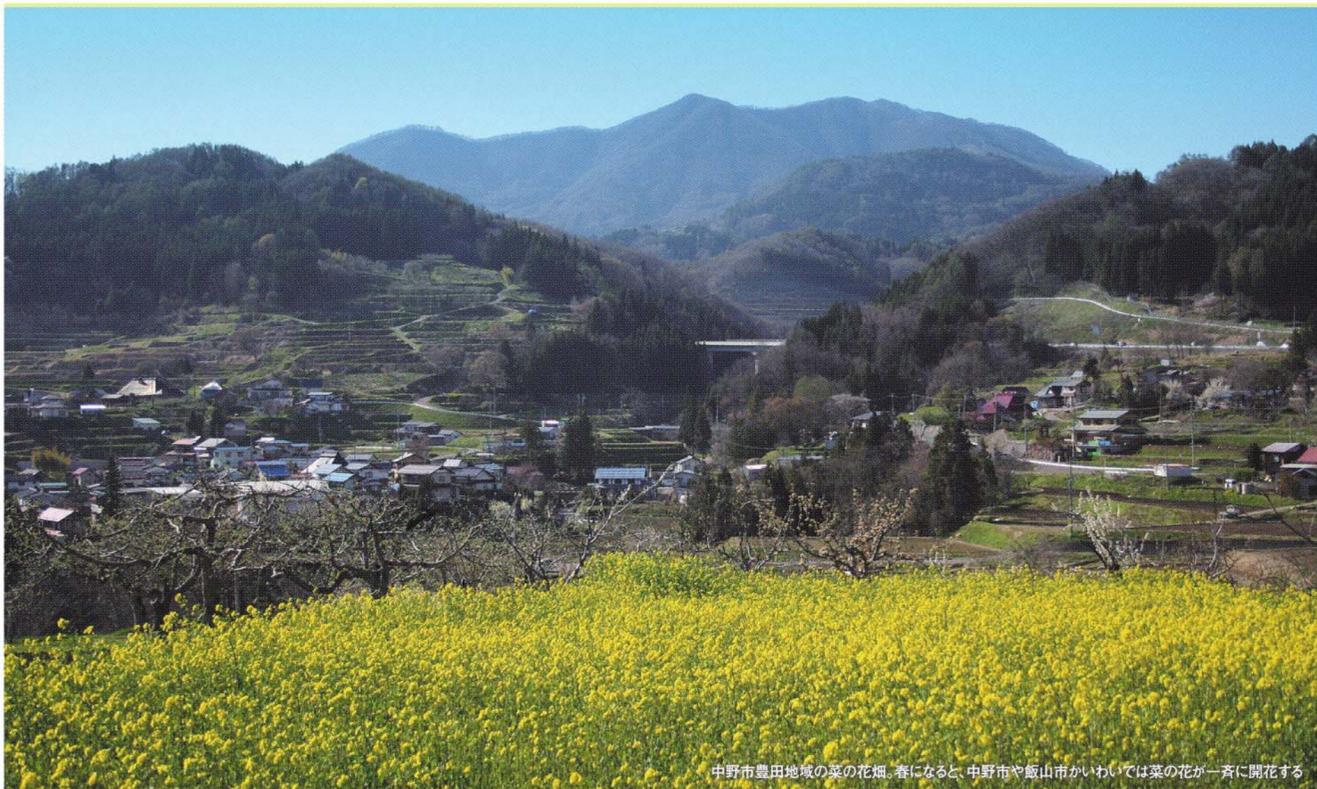


広告



中野市豊田地域の菜の花畑。春になると、中野市や飯山がわがわが菜の花が一斉に開花する



高野辰之記念館では、歌謡や演劇などを研究し、日本文化の再発見に尽力した高野の功績を知ることができる



村人が上杉謙信に振る舞ったといわれる笹ずしは素朴な味わい。1枚120円で持ち帰りも可能



懐かしい暮らしがしのばれる高橋まゆみさんの作品は温かな世界観で、ほっとした気持ちにさせてくれる

北陸新幹線の新駅「飯山駅」「上越妙高駅」から旅する！

日本の原風景に浸り、 重なる歴史に思いをはせる

いよいよ開業した北陸新幹線の長野〜金沢間。北陸だけでなく、首都圏から上信越へのアプローチもぐっと便利になりました。今回は、「飯山駅」「上越妙高駅」を起点に上信越の自然、歴史文化、食文化を訪ねる旅に出掛けてみましょう。

北陸新幹線E7系

懐かしい風景

開業間もない北陸新幹線で行く飯山・中野エリアの旅は、日本人の心のふるさとに触れる旅です。起点となる飯山駅へは東京駅から北陸新幹線で、最速1時間40分ほどで到着します。新設された飯山駅舎は、国指定の伝統的工芸品の内山和紙、長野県産のフナなど地元の特産を使い、土地の風土や伝統文化を表現したのが特徴です。

飯山駅から行く中野市郊外には、文部省唱歌「故郷」に歌われているうさぎ追いかの山の情景が広がっています。作詞したのは偉大な国文学者でもある、中野市出身の高野辰之です。その生家近くには高野辰之記念館もあり、

作詞者としての足跡をたどることもできます。唱歌「臘月夜」に出てくる歌詞「菜の花畑は中野市」飯山に点在する菜の花畑をモチーフにしたと思われる「記念館副館長の高野裕彦さん。飯山駅のある飯山にも里山田園風景など、ふるさとの原風景が色濃く残されています。郊外にある飯山市菜の花公園」もその一つ。一面の菜の花畑越しに千曲川を一望できる絶景ポイントで、5月連休のいよいよ菜の花まつりには多くの旅人でにぎわいます。

飯山の昔ながらの生活を創作人形で表現しているのが「高橋まゆみ人形館」です。家族や地域の絆を感じさせる世界観が、館内いっぱい広がっています。一つ一つ眺めていくと、忘れてはならない大事なものを拾い集めていくという作者・高橋まゆみさんの思いが伝わってくるようです。

人形館に隣接した味蔵月あかりは、郷土食を伝承する「いよいよ」まちがもてなす店です。地元産の安全・安心な食材と、かあちゃんの手作りこだわりの「味蔵月あかり」の元気があちやんちやんが人気です。

飯山はまた寺の町でもあり、人形館の近くには多くの寺が集まり、遊歩道も整備されています。



歴史ある第一号石蔵にワインの樽が整然と並ぶ岩の原葡萄園。おすすめは赤ワイン



高田城とその周辺には、約4千本の桜が咲く。幻想的な夜桜は日本三大夜桜の一つ



レルヒ少佐が、当時の出で立ちで迎えてくれる日本スキー発祥記念館



釜蓋遺跡の施設には出土品などを展示。土器作りなどの体験メニューも

首都圏からぐっと近づく、飯山・上越妙高エリアへ！

JR東日本では、北陸新幹線延伸で「飯山エリア」「上越妙高エリア」の自然、歴史文化、食文化をおトクにお楽しみいただけるプランをご用意しております。「飯山エリア」では懐かしい原風景を通して日本人の心のふるさとに触れ、「上越妙高エリア」では史跡や記念館を巡り文化の歴史を学んでみてはいかがでしょうか。

詳しくは、JR東日本の主な駅の「びゅうプラザ」にあるパンフレット、またはホームページ (<http://www.eki-net.com/travel>) をご覧ください

- #### 各施設のお問い合わせ先
- 高野辰之記念館
中野市大字永江1809 TEL:0269-38-3070
 - 飯山市菜の花公園
飯山市大字瑞穂413南付近
TEL:0269-62-3111 (飯山市農林課)
 - 高橋まゆみ人形館
飯山市飯山2941-1 TEL:0269-67-0139
 - 味蔵 月あかり
飯山市飯山2941-1 TEL:0269-67-0188
 - 釜蓋遺跡公園
上越市大和5-771-1
TEL:025-521-6280 (上越市埋蔵文化財センター)
 - 春日山城跡
上越市大字中屋敷
TEL:025-545-9269 (上越市文化行政課)
 - 高田公園
上越市本城町44-1 TEL:025-526-5111
(上越市 都市整備部 都市整備課)
 - 日本スキー発祥記念館
上越市大貫2-18-37 TEL:025-523-3766
 - 岩の原葡萄園
上越市大字北方1223 TEL:025-528-4002

林、新潟県産のスキ、高田公園の桜をイメージしたデザインガラスなどが、ぬくもりのある空間を演出しています。

ここからは、弥生時代から近代までの、北国の歴史を訪ねましょう。4月中旬上越妙高駅前に「日本一新幹線駅に近い史跡公園」がうたい文句の「釜蓋遺跡公園」とガイダンス施設が誕生します。国指定史跡・釜蓋遺跡は集落の周りに壕を張り巡らせた弥生時代の環壕集落で、炭化した米、ヒスイの原石などが発見されています。釜蓋遺跡を含む妻太遺跡群からは、長野や北陸との交流を示す土器なども出土しました。そして、新幹線の開業によって長野や北陸との新たな交流が生まれようとしている。運命的なものを感ぜずと上越市埋蔵文化財センター主任の吉川俊久さん。戦国の史跡を訪ねたいなら、上杉謙信の居城があった「春日山城跡」へ向かいます。自然の起伏を生かした空堀、土塁などを築いた城塞は難攻不落の名城として知られています。

また、復元された高田城三重櫓のある「高田公園」とその周辺では、高田城百万人観戦会が4月3日から19日まで開催されます。薄桃色のソメイヨシノと三重櫓が、ともされたほんのりの薄明かりに美しく映えます。

「岩の原葡萄園は、日本のワインぶどうの父」といわれる川上善兵衛が創業したワイナリーです。氏が1927年赤ワイン向けに開発した「マスカット・ペリー」は2013年に国際ブドウ・ワイン機構(OIV)に品種登録されました。「マスカット・ペリー」の赤ワインは「辛口ですが、いちごのような甘い香りで、飲みは少なく軟らかな口当たり」(岡本重孝広報担当部長)が特徴で、和食に合うことでも人気です。1895年に建造された第一号石蔵は現存する日本最古のワイン蔵で、国の登録有形文化財です。歴史ある石蔵は見学も可能です。

新しい時代、新しい文化の発信地

上越市はスキー発祥の地でもあります。「日本スキー発祥記念館」では、日本で初めてスキーを指導した当時のオーストリア・ハンガリー帝国のレルヒ少佐の資料、愛用品はもちろん、スキーの歴史全般が展示されています。1981年には、レルヒ少佐の恩師ツタルスキーが近代スキー技術を完成させた地、オーストリアのリリエンフェルト市と姉妹都市として提携。「以来、スキーを通して交流を深めています」とレルヒの会の増田さちえさんは話します。

※本文に記載の料金は税込表示価格です。